

11月臨時会

新たな議長・副議長決まる

11月14日、平成25年第3回臨時会を開催しました。今臨時会では、市長から提出された「一般会計補正予算」を審議しました。審議の結果、一般会計補正予算（第5号）については経済建設常任委員会へ付託され、委員会報告のとおり、原案可決しました。

また、議長・副議長から辞職願いが提出され、市議会議長・副議長の選挙を行いました。さらに、新たな各種委員会委員等が選出され、議会の新体制が決定しました。

○一般会計補正予算（第4号）：9月4日深夜から5日早朝に発生した雷によって、海老名運動公園施設等の電気設備に多大な被害をこうむり、早急に対応する必要があったことから、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したとの報告がありました。採決の結果、全員賛成で承認されました。

○一般会計補正予算（第5号）：老朽化した市営杉久保住宅建替事業として、海老名市南部給食センター跡地に（仮称）市営上河内住宅」を平成25年度から平成26年度にかけて建設、全戸バリアフリー化することにより、障がい者や高齢者の生活に配慮するなど、誰もが安心して暮らせる市営住宅を建設するものです。

歳入歳出それぞれ8324万4000円を追加し、予算総額は36億3757万円となります。

歳入は、社会資本整備総合交付金、新まちづくり基金繰入金、市営住宅建設事業債。歳出は、市営住宅建設事業費。採決の結果、全員賛成で原案可決しました。



（仮称）市営上河内住宅建設予定地

誰もが安心して暮らせる
市営住宅の建設事業費に
かかる一般会計補正予算
を可決



条例



○海老名市議会委員会条例の一部改正：議会運営委員会の委員の定数を8人から9人に変更するものです。採決の結果、全員賛成で原案可決しました。

正副議長選出

議長選挙の結果は、有効投票数21票中20票を獲得した市川敏彦議員（志政会）が、海老名市議会第37代目の議長に選ばれました。新議長の市川敏彦議員は、中野在住で市議会議員4期目の66歳。これまでに議会の役職として、市議会議長、総務常任委員会委員長、経済建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、高速度・相模川対策特別委員会委員長、監査委員、農業委員会委員などを歴任しています。また、副議長選挙の結果は、有効投票数17票中15票を獲得した鶴指眞澄議員（市政改革の会）が選ばれました。新副議長の鶴指眞澄議員は、社家在住で市議会議員2期目の69歳。これまで議会の役職として経済建設常任委員会委員長、まちづくり対策特別委員会委員長、農業委員会委員などを歴任しています。

新監査委員に

倉橋正美議員

新監査委員に就任した倉橋正美議員は、国分南在住で市議会議員5期目の58歳。同議員は、これまで市議会議長をはじめ、総務常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、基地対策特別委員会委員長などを歴任しています。

会派構成の変更

11月1日、無会派の山口良樹議員が市政改革の会に加わり、その結果、会派構成は志政会7名、市政改革の会4名、創新海クラブ3名、公明党3名、市民・ネットの会2名、日本共産党2名となり、そのほか無会派1名となりました。

志政会	7人
市政改革の会	4人
創新海クラブ	3人
公明党	3人
市民・ネットの会	2人
日本共産党	2人
無所属	1人

会派構成（平成25年11月1日現在）